

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年8月2日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 弘行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理グループ長(氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 2019年8月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,744	△0.8	316	△13.8	432	△25.3	323	△28.7
2019年3月期第1四半期	6,800	△1.2	367	81.7	579	58.1	453	56.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 168百万円(△57.4%) 2019年3月期第1四半期 395百万円(25.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	11.92	—
2019年3月期第1四半期	16.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	23,989	8,816	36.8
2019年3月期	24,490	8,810	36.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,816百万円 2019年3月期 8,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△0.0	900	△10.9	900	△17.5	610	△27.4	22.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	35,000,000株	2019年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	7,890,649株	2019年3月期	7,890,649株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	27,109,351株	2019年3月期1Q	27,109,354株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益も高い水準で底堅く推移する中、緩やかな回復基調で推移いたしました。先行きについては、政府の各種経済政策の効果もあり、継続的な改善が見込まれる一方、通商問題の世界経済に与える影響や中国経済の先行きに、引き続き留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループはお客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」を目標に、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んで参りました結果、経営成績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において12.53セントで始まり、原油先物相場の高騰の影響を受け、主要生産国ブラジルでエタノールの生産へシフトしたことから、4月初旬には、12.84セントの高値を付けました。一方で、干ばつの影響で生産水準の低下が懸念されていたインドやタイにおいて順調に収穫がなされているとの情報から、5月下旬に11.36セントの安値をつけました。その後は、11セント半ばから12セント半ばの範囲で推移し、結局12.32セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初189円～190円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、業務用製品は飲料など夏物向けの販売が低調に推移し、また家庭用製品についても需要の減少傾向を受け、売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は6,287百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は514百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門は、特定保健用食品「オリゴのおかげ」の雑誌や新聞への広告活動や各種イベントへの参加・協賛を通じ、消費者の皆様へ「オリゴのおかげ」の他社品との優位性、有効成分の機能性等につき訴求・啓発に努めて参りました。この結果、一部アイテムでは前年以上の実績を維持いたしました。また、オリゴ糖部門全体では販売数量及び売上高とも前年同期を下回りました。

サイクロデキストリン部門は、食品及び非食品において新規用途の開発と営業力の強化を通じた拡販に努めました結果、販売数量は前年を上回りましたが売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は455百万円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益は87百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は33百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は16百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は6,744百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は316百万円（前年同期比13.8%減）、経常利益は432百万円（前年同期比25.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は323百万円（前年同期比28.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産

流動資産合計は前連結会計年度に比べて304百万円減少し、6,590百万円となりました。これは主に、現金及び預金が720百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が97百万円増加、商品及び製品が158百万円増加、原料及び貯蔵品が191百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は前連結会計年度に比べて196百万円減少し、17,399百万円となりました。これは主に、投資有価証券が141百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて500百万円減少し、23,989百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて506百万円減少し、15,173百万円となりました。これは主に、未払法人税等が174百万円減少、長期借入金が294百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5百万円増加し、8,816百万円となりました。これは主に、利益剰余金160百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が147百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日公表の業績予想からの変更はありません。

今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,667	946
受取手形及び売掛金	1,923	2,020
商品及び製品	1,102	1,260
仕掛品	303	206
原材料及び貯蔵品	856	1,047
その他	1,041	1,107
流動資産合計	6,894	6,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,042	10,042
減価償却累計額	△6,660	△6,726
建物及び構築物(純額)	3,381	3,316
機械装置及び運搬具	11,554	11,557
減価償却累計額	△9,668	△9,723
機械装置及び運搬具(純額)	1,885	1,834
工具、器具及び備品	474	488
減価償却累計額	△400	△401
工具、器具及び備品(純額)	74	87
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	7	15
有形固定資産合計	10,583	10,487
無形固定資産		
ソフトウェア	101	103
その他	6	6
無形固定資産合計	108	109
投資その他の資産		
投資有価証券	4,801	4,659
長期貸付金	1,199	1,207
繰延税金資産	829	862
その他	73	71
投資その他の資産合計	6,904	6,801
固定資産合計	17,595	17,399
資産合計	24,490	23,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,044	1,122
短期借入金	5,200	5,200
1年内返済予定の長期借入金	1,330	1,179
未払法人税等	249	75
未払消費税等	188	166
賞与引当金	77	39
その他	1,127	1,250
流動負債合計	9,218	9,034
固定負債		
長期借入金	5,490	5,196
退職給付に係る負債	637	611
繰延税金負債	18	18
その他	314	313
固定負債合計	6,460	6,139
負債合計	15,679	15,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	10,391	10,552
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	9,361	9,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△574	△721
繰延ヘッジ損益	0	△3
退職給付に係る調整累計額	22	19
その他の包括利益累計額合計	△551	△705
純資産合計	8,810	8,816
負債純資産合計	24,490	23,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,800	6,744
売上原価	5,458	5,430
売上総利益	1,342	1,313
販売費及び一般管理費	974	997
営業利益	367	316
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	58	59
持分法による投資利益	169	76
その他	4	2
営業外収益合計	239	143
営業外費用		
支払利息	24	20
支払手数料	1	1
その他	1	6
営業外費用合計	27	28
経常利益	579	432
税金等調整前四半期純利益	579	432
法人税、住民税及び事業税	95	75
法人税等調整額	29	33
法人税等合計	125	109
四半期純利益	453	323
親会社株主に帰属する四半期純利益	453	323

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	453	323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	△144
繰延ヘッジ損益	△0	△4
退職給付に係る調整額	0	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△2
その他の包括利益合計	△58	△154
四半期包括利益	395	168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395	168

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,312	459	28	6,800	—	6,800
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	21	4	31	△31	—
計	6,317	481	32	6,831	△31	6,800
セグメント利益	553	91	15	659	△292	367

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,283	432	28	6,744	—	6,744
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	23	5	32	△32	—
計	6,287	455	33	6,777	△32	6,744
セグメント利益	514	87	16	618	△301	316

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。